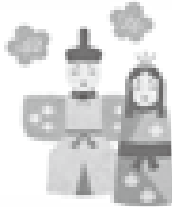


あどばけいと

HSK



1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号552号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2018年3月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

2018年3月号

No.206 [March]

定価 100円

あどばけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

ライフ夢の実現にむけて

我妻 武

この時期になりますと、ライフの決算が気になります。しかし、以前のように赤字になることはないと思いますから、どれだけの数字を残せるのかということになってくると思います。

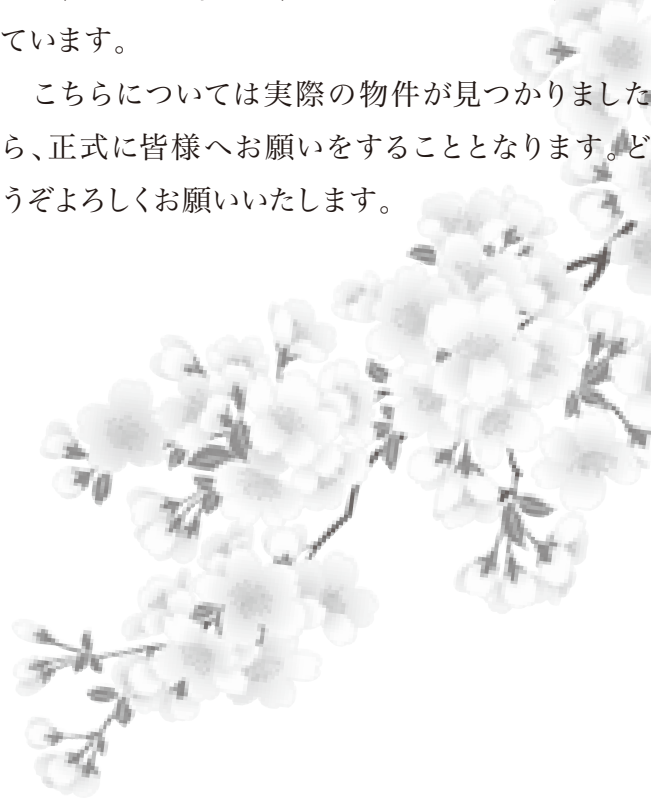
ライフではこの間、委託の仕事が契約満了となったり、他の色々な事業も少し整理をしてきています。そうしたことで仕事による収入は減っているのですが、何よりメンバー（障害者）の高齢化が進んできているということも大きくあります。今まで出来ていた仕事がきつくなってきたということも聞きます。

そこで外部からの委託業務等（急かされる時間）のようなものだけではなく、ライフ独自の事業（ライフのゆっくりとした時間）も検討し、色々な人が仕事の様々な工程に参加できるようなものが出来ないだろうかということで検討が始まりました。まずはモデルとなる事業所の見学など情報収集から始めて、ライフで出来るのか、出来るようにするにはどのような形がいいのか議論をしていきます。これはメンバーの工賃にも関わることでありますから、ゆっくりもしてられません。

一方、ライフのビル建設ですが、こちらは物件情報が少しずつ上がってくるようになりましたから、吟味しながら検討するということになります。ビルに

は、事業所の一部（統合したもの）と居住スペースを作ります。こちらには、いわゆる施設のような居住スペースは作りません。当然ながら補助金や助成金等は当てにできなくなきますから、民間の助成団体やライフを応援いただいている皆様やご家族の皆様をお願いをするしかありません。しかし、生活をするわけですから、規制を受けることなく、みんな協力しながらやっつけようというのが大きな考え方です。道のりは険しくなりますが、メンバーがこれまで生活してきた生活のベースを無駄にすることなく、ライフの考え方、生き方を示していこうと思っています。

こちらについては実際の物件が見つかりましたら、正式に皆様へお願いをすることとなります。どうぞよろしくお願いいたします。



就労継続
支援事業
A型

共働事業所 きばりや

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリア

Cafe de Kibariya

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売



第26回人権セミナー参加報告

きばりや 加藤 信一

2月11日に開催された人権セミナーに参加させていただきました。堅い感じのセミナーかと思っていましたが、フレンドリーな雰囲気の集いでした。

私は参加されていた方々の発言を聴いて「はっ」としたことがありました。障がいがあっても「楽しむことをあきらめない」ということです。そして「障がいに負けない」ということ。

やはりお金や行動範囲が限られてしまう方が大多数であると思いますが、それでも楽しもう、それでも、あきらめず障がいに負けずに生きていこう。なんて前向きな言葉であらう、力強い言葉であらう!と心に響きました。

重度の障がいを抱えた方が絞り出すような声で語

るのです。自分の人生をあきらめない、負けない。そんな強さを教えていただいたセミナーでした。本当に参加させていただき良かったと思っております。ありがとうございます。



カフェに来て

カフェ・ド・キバリア 織本 亜哉子

カフェに行くようになってから6ヶ月経過しました。少しずつ春に向かって寒い時と暖かい風が吹いている感じです。最近はおしるこが人気があり、前からスープの人気はずっと続いています。

6ヶ月経ったのでコーヒーをお客様に対しても淹れられるようになれたらと思っています。

これからもカフェにたくさんのお客様が来てくれて人氣が続いていけば良いなあと思っています。

ありがとうございました

カフェ・ド・キバリア 青木 早枝

3月でカフェ・ド・キバリアを退職することになりました。お世話になりました。

入った頃はコーヒーの淹れ方はもちろん、野菜の切り方もわからない私でしたが、今では冷蔵庫にある野菜を見て、スープを作れるまでになり、カフェにあるメニューも全部作れます。

今は何の不安もなくお仕事をしています。でも、一番大きな安心は「何かあってもみんなが助けてくれる!」そう感じているからだと思います。緊張すると手が震えたり、思考が停止したり、そのくせすぐにカリカリ・ピリピリしてしまう私を「それも含めて青木さん」と受け入れてくれた若森さんをはじめとするカフェのみんながいたから、ここに自分の居場所を作ることができました。

ありがとうございました。



カフェ・ド・キバリア 今月のおすすめ

アンケートでとても要望の多かった手作りサンドイッチをはじめました。今のところ、牛乳から手作りしているカッテージチーズと野菜、ポテトサラダ、キャベツサラダ、卵サラダなどを数種類出しています。今後も徐々に増やしていきたいとおもっていますので、お楽しみに!



《サンドイッチ》…………… 250円



生活介護事業 こころや

お米販売／軽作業

- レクリエーション ■アート活動
- お米の卸し・販売 ■軽作業

♡ 雪まつり

竹田 銘子

例年よりも寒い日が多い3月。メンバーさんからの希望があつて、雪まつりの大通り会場へ行ってきました。防寒対策をしっかりと、念のために車イスも持ち、準備万端で出かけました。

雪像を楽しむというよりも、たくさんある出店を気にしてばかりいるメンバーさんもありましたが、童心にかえって楽しむことができました。1時間くらい会場を歩き回った後は、体も冷え冷え。出店により、良い匂いの食べ物をしり目に、暖かい飲み物を飲んでほっと一息。こころやへ戻って、美味しいひだまり弁当をいただきました。

この寒いのに、何もわざわざ…、とも思いましたが、皆でぶらぶら見物に行った雪まつりは楽しい思い出になりました。

♡ 雪まつり

川村 良一

雪まつりに行ってきたのがひさしぶりでした。
お店がいっぱいありました。
ホットチョコレートココア「1コ400円」のみました。

♡ 雪まつりに

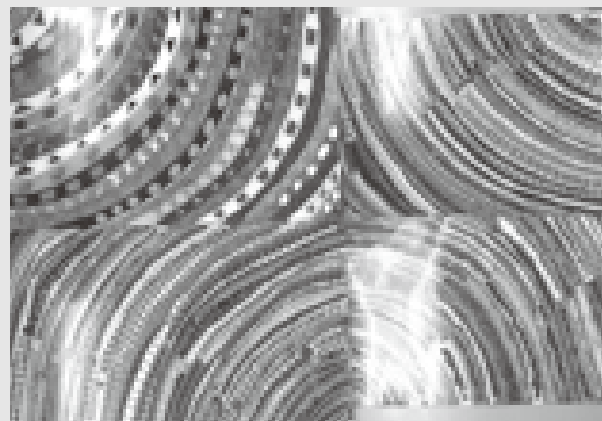
大堀 昌彦

こころやでいきました。みんなとまわりました。
そして、たのしかった。いっしょのおもいでになりたい。皆もたのしんでいました。
また行事があつたら皆といきたいと思います。



ABLE ART KOKOROYA

こころやのアート活動の中から
生まれた作品



写真は松村さんの作品展です



就労継続支援事業B型

コン・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業／清掃

■食堂（ランチ、ドリンク）

■テイクアウト弁当

■自然食品、フェアトレード商品販売



冬も終盤

秋元 文男

今年も例年並みに雪が降り、1月からは札幌でもインフルエンザが流行し、その為か2月の雪まつりは来場者が昨年より10万人も少なかったそうです。

今年に入って最初の行事、新年会ではひだまりでオードブルを作り大変でしたが、みんなに美味しいと言ってもらい嬉しかったです。

寒い冬も、もう少しで終わりますが、引き続き体調管理に気を配り、頑張りたいと思います。



インフルエンザだったのか？

本田 大祐

僕ら1月21日の夕方頃から、風邪を引き初めました。その初めから26日迄にインフルエンザにかかりました。21日から市販の風邪薬を飲んで、インフルエンザは治りましたが、熱が下がらなくて、26日に近くの病院に行って薬をもらって2月2日に完全に治りました。皆さんも風邪には気を付けて下さいね。



仕事づくり委員会

藤井 孝雄

仕事づくり委員会はこれまで3回までは、カフェドキバリヤについて、議題としてあげました。

4回目は、ひだまりで居酒屋で何か出せるメニューを決めて見てオニオンリングやのりでまいたサラダ、つづ貝、コロツケパン、かんこく風キムチのいためもの、ギョーザなどの居酒屋で出せる物を試食して、仕事づくり委員会はもちこんでの会食みたいな形でやりました。

仕事づくり委員会は、次回どんな議題になるかはこうみたいです。

----- キッチンレシピ -----

ヤーコンと卵の花で ～春のいぶき～



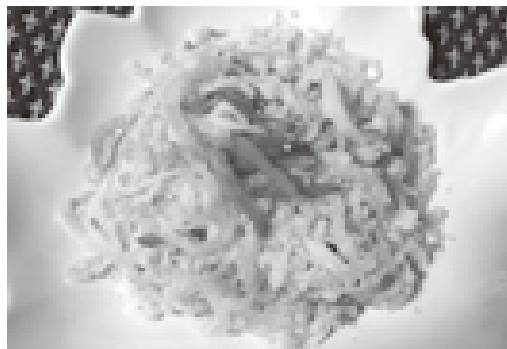
炒ったおからの卵の花にヤーコンを合わせた、ほっこりか～い春らしいおかずです。

材料(4人分)

ヤーコン	 100g	かにかまぼこ	 6個
おから	 100g	さけるチーズ	 1本
卵の黄身	 1個	酢	 大さじ1.5
絹さや	 10個	砂糖	 大さじ1.5
にんじん	 1/4本	塩	 少々

作り方

- ①ヤーコンは、細いせん切りにし、酢水(分量外)にさらしておく。
- ②にんじんも同様に、絹さやもせん切りにする。
- ③にんじんと絹さやはさっと湯通ししておく。
(電子レンジで加熱でもOK)
- ④かにかまぼこ、さけるチーズは細かく裂いておく。
- ⑤卵は卵黄だけを使うので、分けて溶いておく。
- ⑥おからはフライパンで乾煎りする。※油はひかない
- ⑦おからがパラパラにほぐれてきたら、調味料を入れ、水分を飛ばしながら良くかき混ぜる。
- ⑧調味料が全体に行きわたったら、続いて溶いた卵黄を回し入れ、すぐに良くかき回して卵を全体にからめる。
- ⑨卵が全体に混ざったら、水を切ったヤーコン、にんじんを加えて水分を飛ばしながらおからと絡める。続いて、かにかまぼこ、さけるチーズを加え、よくかきまわして混ぜる。
- ⑩火を止めて、最後に絹さやを合わせる。



たねや
キャラクター
タネコ就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務／清掃／軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

寒さが身にしみるお年頃

高井 明徳

今シーズンの冬期間のイオンは、インフルエンザや風邪の猛威が襲いました。昨年まではたねやのメンバーのみでシフトの抜けた穴をなんとか埋めていた状態でしたが、今期はひだまりのメンバーが増えたのでずいぶん助けられました。

寒さの厳しい中作業しなければならないので、体調管理や防寒などを各自で行なうのですが、おじさんの自分からすると若人たちの寒そうな格好が気になってしかたありません。「なんでくるぶしソックスなんだよ！寒いじゃん！」と言っても「大丈夫ですー」という返事が返ってきてあっけにとられますが、思えば自分も若い頃は真冬に膝が見える穴の開いたジーパンを履いていて大人に怒られたことを思い出したりしました。冬は四十路が身にしみます。

バレンタインデーなどで作業が多く忙しい日が続きましたが、新しいメンバーもすっかり作業を覚えてくれて乗り切ることができました。イベントが続くと忙しくなるのでまだまだ気は休まりませんが、みんなで力を合わせて頑張ります。



インフルエンサーの役割について

小山 譲

最近、知ったことなのですが、インフルエンサーというもの（役割？仕事？）があるそうです。

インフルエンサーとはSNSやインターネット配信などでお客さんなどに影響を与える人や物をそう呼ぶそうです。

たねやで言うとFBのことを指します。有名企業に比べれば、影響力はそんなにあると思っていないのですが、責任をもってやっているつもりです。

今よりもいい記事を書いて、たねやの売り上げのため、仕事のためになればいいと日々努力していきます。



もっと宣伝しよう！

高橋 繁広

宣伝で次のとおりにしたほうがいいと思います。

1. はやりのフェイスブックで商品しようかい。
 2. イベントなどは事前にけいさいするべし。
 3. お店、イベントの場所をアクセス方法や地図で分かりやすく入れる。
 4. パンフレットつくってイベントなどで配布。
- と、こんなかんじです。



寒中お見舞い申し上げます 宇野 幸治

今年は成年です。犬は行動力が有り、積極的で親切で世話好きです。鋭い直感力、判断力、行動力抜群。親切で面倒見が良い。でも本音を隠したがる。

皆さんも積極的に何かを取り入れる一年にしてみたいかがでしょうか。



Facebook

『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。
随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life>

共働サービスたねやfacebook

検索



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
南結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

■ 居宅介護 ■ 訪問介護 ■ 重度訪問介護
■ 介護予防訪問介護 ■ 福祉有償運送
■ 行動援護 ■ 同行援護 ■ 移動支援

防災の意識

南陽二郎

皆さんは、防災意識というものをどのくらいお持ちでしょうか？

災害といえば、東北や熊本の大地震がまだ記憶に新しいが、数年経っている今、皆さんは災害への備えや、緊急時、どう行動したらいいのかを頭に入れているのでしょうか？それとも、まだ関心のない方もいらっしゃるのでしょうか？

私はというと、備えはある程度している。非常食や水の準備、避難場所くらいは調べてある。長い間ヘルパーをしていると、そういうことも気になってくる。例えば火災。最近では、東区の生活困窮者が暮らすための共同住宅で火災が発生し、多数の方が亡くなっている。数年前にも、北区屯田のグループホームでも火災によって、大勢の死者が出ている。

皆さんは、これらの身近に起こっている災害を目の当たりにして、どう思われているだろうか？

私は、小さい頃に、友達が火災で両親を亡くして孤独になってしまったのがトラウマになり、普段、火事だけは気を付けている。ストーブはもちろん、ガスの元栓、無用なコンセントは外出の際には抜いているほどだ。気にしすぎかもしれないが、火災は全て

を失ってしまう。震災時も火事による二次災害が最も恐ろしいという。

ヘルパーをしていると、他者の自宅に訪問するため、そういった事がとても気になる。多くの方は、災害の意識があまりない為、ヘルパー支援の終了の際、確認と声かけは大概しているが、支援で訪問すると、たこ足配線があったり、タバコの火がついたまま、放置されたりと気になる所が多くある。ヘルパーが支援している時は気づいて声掛けできるが、なかなか、意識として浸透して頂くには、声を掛け続けるしかないと思う今日この頃。

私が気にしすぎなだけかもしれませんが、障害のある方、ない方も、これを読んでくれている方は、もう一度、周りを確認し、また、気になる方がいれば、声を掛けて頂いたら幸いです。

大切なもの、大切な人を失わない為に…。



ヘルパーステーション南結では、共に働く仲間を募集しています！

ヘルパーステーション南結(ゆい)では、ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。まずはお話だけでも聞いてみませんか？ご応募お待ちしております。

【勤務先】 西・東・北・厚別・白石の各区 ※勤務場所への直行直帰可

【資格】 経験不問(学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎)

【時間】 7:00~24:00の間で2~6時間位、週1~6日の勤務

【給与】 時給900~1,200円以上、交通費規定

【応募】 電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。

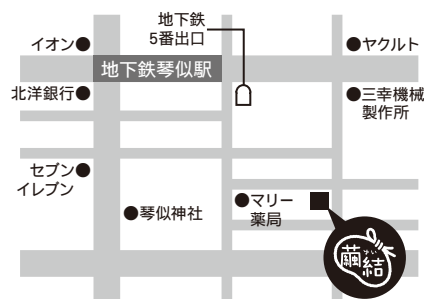
勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせます。

連絡先



Tel:011-623-2505 (佐々木)

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32





札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

お仕事をお願いしまーす！

土門 亨也

昨年度、我が「北海道日本ハムファイターズ」は5位と言う成績で終わりました。今年は昨年より噂されたどおり大谷翔平選手がメジャーへ挑戦を決めロサンゼルス・エンゼルスに入団が決まり個人的に非常に寂しい気持ちともう少し「北海道日本ハムファイターズ」で二刀流を見たかったです。元々入団当時からメジャーに行く事が大谷君の夢でしたのでファンとしては、気持ちよく送り出したいと思います。だが「日ハム」は、木田GM補佐が、みなさんもお存知の様にあの「左手」で昨年のドラフトの目玉、清宮幸太郎選手を7球団指名の中で引き当てたのには、ビックリしたと同時に「日ハム」持ってるなぁ～と思いました。

持っていると言えば、2010年ドラフトの目玉だった斎藤佑樹投手には、今年こそ頑張ってもらわなければ、我が「北海道日本ハムファイターズ」の優勝は、難しいし、あと中田翔には、最低でもホームランを30本以上打って「日ハム」の4番としての活躍をしてもらい栗山監督の胸上げシーンが見られるのを願って今年も「日ハム」を応援します。また、だらだらと「日ハム」の話で盛り上がってしまいましたがここから本題の話です。

我々「元気ジョブ」は、日々「市役所」「区役所」「出資団体」「官公庁」「小・中学校」「一般企業」に営業し、障がい者事業所への仕事を探しマッチングをしています。ひらたく言うと「お見合い業」みたいなものです。

中でも「一般企業」へは、ほぼ飛び込み営業で「元気ジョブ」のパンフレットと資料を持って業務説明をする一応に何処の企業も社会貢献としての理解をして頂くがなかなか直ぐに仕事に結びつくには、難しいです。

ある日、地下の歩道空間を歩いていると「献血にご協力をお願いしまーす」「今〇〇型の血液が不足していまーす」の声が聞こえるが、道行く人は何事も無く通り過ぎて行く風景を見て、ふと思いました。一応に誰もが「献血」は大事な事と思うが一日どれ位の人が足を止めて「献血」に協力するのだろうか？多分かなり少ないじゃないかと自分は思う、だけど頑張って街頭で呼びかけている人を見て自分の仕事に似ているなぁ～と思いました。どちらも微妙に意味合いは、違うが困っている人の為に、働くと言う点では、同じだと思います。

これからも街頭に立って「献血にご協力をお願いしまーす」と呼びかけている人と同じく自分も「一般企業」へ「お仕事をお願いしまーす」と営業し一つでも多くの仕事を障がい者事業所へマッチングしていきたいと思っています。



外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します！

役務 パソコン作業／テープ起こし／封入／シール貼り／草刈り／公園清掃／ポスティング／建物清掃 など

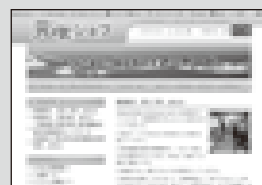
授産 印刷／ノベルティー制作／木工品／革製品／石鹸／パン／ケーキ／クッキー／野菜／お弁当 など

販売 出張販売／イベントなどでの出張販売／バザー など

その他さまざまなご相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください！(TEL:011-596-6581)

～施設紹介やイベント情報掲載！～ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>



札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

 ■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
 ■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

工房でのDVD鑑賞

発寒工房 斉藤 洋平

月に一度のDVD鑑賞(勉強会)を行い障害のみならず、病気を患いながらも現実に向き合って生きていくところにスポットを当てた作品を視聴しています。その中で今回は渡辺謙主演の「明日の記憶」を鑑賞し若年性アルツハイマーという病気について取り上げました。

認知症という症状は物事を忘れてしまったり、今までやって来た簡単な作業も手につかず出来なくなってしまうといった認知機能の低下や人格形成の変化といったものが主として現れています。そうした中で65歳未満の人に発症する若年性アルツハイマーは通常の認知症よりも進行度の速さや症状が重篤化するなど働く世代にとって大きな支障をきたすものとなっています。

渡辺謙が演じる主人公はサラリーマンとしてまたは家庭の大黒柱として順風満帆な生活を送っていましたが発症による生活の変化や現実を知った感情の波、そして夫を支える妻の葛藤が120分の中に埋め込まれていました。

実際の問題として今現在も治療薬はなく、進行を遅らせることが唯一の方法と

なっています。しかしながら認知症を発症した事で失われるといったマイナスな事に目を向けるのではなく、サポートを通じた1日のサイクルや今まで見えなかった心の揺れ動きなどが鮮明に化しています。ネガティブな気持ちではなく病気＝共生という枠組として捉え生きるあり方や家族との絆を見つめ直す事の出来る作品であり、自分自身も考えさせられた時間でした。





リユースプラザ冬まつり無事終了

リユースプラザ館長 松永 クニ子

去る、2月17日(土)リユースプラザ冬まつりが無事終了しました。

当日、朝7時に家を出ると吹雪でした。「来館者は来てくれるのだろうか…」とドキドキしながら出勤しました。10時には晴れて来ましたが、来館者が来る気配が全然ありません。そう、平昌冬季オリンピックの放映もありました。男子フィギュアスケートは金メダルを取れる可能性が大きかったので、そのせいかな?とスタッフも不安いっぱいでした。11時頃から、「新聞を見ました。」と来館者が次々とやって来ました。

北海道新聞の記者さんが、「雪中カルタのようすを写したい!」、J:COMの記者さんが「アイスクリーム作り取材したい」と連絡を受けていたので、続々やって来た親子連れにホッと一安心しました。

また、トン汁やおでんも美味しい!と食べて下さる方が居て本当に嬉しかったです。ライフの関係者の方々もイベントに来て、大いにリユースバザールを盛



販売部門は準備OK!

り上げてくれました。来館者は252人と昨年から30人減りましたが、アイスクリームの試食時には、市民工房に子どもたちの歓声があがり本当に賑やかにイベントが終了しました。トン汁を作って下さった、ひだまりの皆さん、販売に協力して下さい



ゆっぽろ登場♪
可愛い!と大人気でした。

た、ころや、きばりやの皆さん、出店して下さいたねやの皆さん、毎回オセロでイベントを盛り上げて下さる岡林名人と栗田さん、地区リサイクルセンターをお手伝いしてくれた発寒工房の関さん、写真を沢山写してくれた斎藤洋平さん、まだまだたくさんの方々のご協力で1年に6回という厳しいイベントのノルマが無事終了することが出来ました。

本当にありがとうございます。でも、また新年度がやって来ます。5月からイベントがスタートしますので、引き続きリユースプラザイベントへのご協力をお願い致します。

平成30年度は、また新たらしいお楽しみを入れたイベントにしようと計画中です。



【お宅訪問】延期の話し

リユースプラザ 工藤 昌幸

2月26日(月)に、一人暮らしを思案中の発寒工房斎藤洋平さんの【お宅訪問】の予約を受けました。

二人とも月曜日は仕事が休みということで、僕の住む琴似の家を訪ねて来てくれることになっていました。が、しかし、洋平さんが23日からインフルエンザになってしまい延期。

僕の一人暮らしは2015年の3月からです。家族の元を離れて丸3年が経とうとしています。

そして、家族と引越しを手伝ってくれた西田大作さん以外の訪問を受けるのは初めてでドキドキしていました。でも、ちょっぴり先輩風を吹かせて一人暮らしの楽しさやちょっとだけ、辛いことをお話ししようと思案。一人暮らしで始めたレギュラーコーヒーを淹れておもてなしをしよう!とっていました。3月中には【お宅訪問】が実現すると思いますが、僕の暮らしぶりを見て頂くことで一人暮らし実現の弾みになると良いな!とと思っています。

『高速断裁機(プロスカット)を新たに導入!!』 鈴木 麻依

2月に新しいプリンターとともに、名刺用の断裁機も導入いたしました。

今までは、もじやで名刺を印刷した後工場へ持って行き、断裁してもらうという形を取っていましたが、断裁機を導入したことにより、もじやでカラー名刺を印刷したのち、その場ですぐに断裁・検品・納品に至るまで全ての作業がスムーズに進み、以前にも増して、より効率良く仕事が行えるようになり、大活躍してくれています。

まだ、1～2回程しか断裁機を使っておりませんが、見た目や納まりもスッポリコンパクトで性能も抜群に良く、使い勝手や切れ味も抜群、これでどれだけカラー名刺が来ても瞬時に対応ができるので、以前にも増して効率良く進めやすくなるので、ものすごく助かっております。それだけではありません!今は名刺の断裁のみでできる状態なのですが、他にも様々なオプションが内蔵されているそうで、部品を購入すれば、なんと!ハガキ類やカードの二つ折り、ミシン目入りチケットにも瞬時に対応でき、素早くカットすることができます。それに加え、多彩なカード類のカットにも対応しているそうです。『瞬時にもの凄い早さで、あっという間にスパッと切れてしまうそうなんです。』操作も非常にシンプルかつ簡単に印刷した名刺の台紙をそのまま、

プロスカットにセットして赤い光の真ん中に合うように下のつまみを調節し、後はスタートボタンを『ポン!』と1回押すだけで失敗も無駄も一切なく、かつ正確に断裁ができてしまうという素晴らしい機械なんです。その素早い動きには目を見張るものがあり『これこそまさしく、シンプル・イズ・ベスト』な画期的な断裁機です。これはもう、あえて言うなら『超、瞬殺名刺カッター!』というべきでしょうか。これはもしかしたら年賀状の断裁機としてもフルに活用できるかもしれませんね。(笑)

このように細かく言うときりが無いのですが、とにかく綺麗にかつ!どんなジャンルにも多彩な機能が搭載されているそうなので、これからも大切に実験的な感じで使っていき、その性能を自分の目で確かめていけたらと思っています。



THE人生ズの取材

西田 彩

もじやで制作している、療育手帳をお持ちの方のための情報誌「ハビサポ!」の次回4月号で、THE人生ズを紹介することが決まりました。

2月4日(日)には、インスタライブの撮影の為、タワーレコード札幌ピヴォ店に行ってきました。会場は沢山の来場者と迫力のある演奏で、大変な盛り上がりでした。2月11日(日)札幌カウンターアクションでのライブとともにイベントレポートを掲載しますので、ぜひご覧ください。



ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所きばりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・プリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談室らいふ

TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

3月

イベントカレンダー

今月のイベントの予定はありません

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください！<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

《NPOライフブックレットのご紹介》

ぼくたちだって人間だ!!

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で

自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



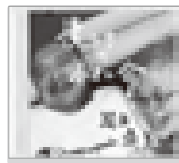
NPOライフブックレットNo.3

ぼくたちだって人間だ!!

A5判 134ページ

定価 800円(送料別)

岡林満美のCD

僕たちの
小さい命定価
300円
(送料別)

「ぼくたちだって人間だ!!」×CD「僕たちの小さい命」同時購入がお得！

合計金額1,100円(送料別)のところ→ 同時購入価格 1,000円(送料別)

日本発
共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

社会的排除から
インクルージョンへ障害者、薬物・アルコール依存、
シングルマザー、ホームレス、
ニートなど、社会的に排除され
やすい人を一定割合雇い、ソー
シャルインクルージョンと平等
な分配を追求する社会的事業
所の意義と取り組み、促進のた
めの制度を考える。

編者 NPO法人共同連

現代書館 195×135 240ページ 定価 2,100円

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで！

メールでのお申込みは ⇒ main_lifemail@npolife.net

ご協力ありがとうございます（順不同・敬称略）

アドボケイト購読料 富塚 とも子 金子 彰夫 村中 一美 西道 敏一 道下 大樹 皆川 洋美

寄付金 我妻 武

賛同会員会費 高井 健男 宮村 もと子 道下 大樹 皆川 洋美 **寄付金(ビル建設)** 定居 美稚子

ライフカンパのご案内 ～だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう～

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号／加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
北海道信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム
～私のオススメ～

一秒の言葉

札幌市リユースプラザ 松永 クニ子

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることがある。「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。「がんばって」この一秒ほどの短い言葉に、勇気がよみがえってくることがある。「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉に、しあわせにあふれることがある。「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。「さようなら」この一秒ほどの短い言葉に、一生の別になる時がある。一秒に喜び、一秒に泣く。一生懸命、一秒。人は生きる。「一秒の言葉(文 小泉吉宏)」

この詩は、1984年にセイコーのラジオCMでした。全国ラジオCM大賞を受賞しその後、テレビCMになり、各地の卒業式で校長先生に読まれたり、結婚式の祝辞に使われたり、道徳の教科書に採用され評判となり2008年にテレビCMもラジオCMもリメイクされたそうです。2009年に本として発刊され読んだ時に、「そっかぁ～「ありがとう」も「ごめんなさい」もたった一秒の言葉なのだ…」と、そして、詩の中の言葉の重要さヒシヒシと今も感じています。言い訳せずに自分の失敗を素直に「ごめんなさい」と謝ること、どんな小さなことにでも心を込めて大きな声で「ありがとう」と感謝の言葉を言うこと。この一秒の言葉が中々言えない。この詩の中の言葉を声に出すことで人間関係が円滑になります。皆さんもたった1秒を惜しまずに、声に出してみましょ！

編集後記

陽も長くなって、北国の春はもう少しの辛抱です。この時期は急に暖かくなったり、急に寒くなる時期でもあります。自分に言い聞かせるように、皆様方もご注意ください。ライフのスタッフ、メンバーは変わりありませんが、これまで請けていた仕事の打ち切りやメンバーにも体に負担のかからない仕事づくりが急務です。これも少し動き始めました。具体的になると良いのですが、また、ライフで目標に掲げたビルづくりについても、物件を吟味しながら検討中です。スタッフ、メンバーが安心して仕事をして暮らせる場所になるようなものを作りたいと思っています。どうぞ引き続き、皆様方からのご支援、ご協力をお願いいたします。(タケ)

あどばい
2018年 3月号
No.206 定価 100円

2018年3月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号552号 1973年1月13日第3種郵便物認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail honbu@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485